



STOP THE 格差社会! 全道キャラバン通信

NO.7 2013.6.4 発行責任者 連合北海道組織労働局

胆振地区集会は200人の参加で開催！

青年総決起集会にも40人が参集

胆振地協は、31日、むかわ、厚真、安平、苫小牧、白老と進み室蘭市で集会を開催し、翌6月1日は、登別から豊浦まで計11市町村を街宣し、管内の走行距離は341キロとなった。



「白老町役場前で街頭演説する山岡代表」

白老町役場前の街頭演説では、田村道議と共に民主党9区総支部山岡代表らが「本人の意思に関係なく解雇を簡単にしようという解雇規制の緩和に断固反対の立場で戦っていく」と訴えた。



「白老町 戸田町長へ要請」

その足で白老町役場を訪ね、白老地区連合今野会長・田村道議・山岡代表らが、白老町の戸田町長に、地域雇用の安定・創出に向けた取組や自治体の財政確保などを要請した。

苫小牧市ステイ前では、山岡代表と民主党苫小牧支部代表の沖田道議が「参院選は自民党の暴走に歯止めをかける大きな意味を持つ」と声を枯らし支援を訴えた。



「胆振地協 鈴木事務局長(中) 山岡代表(左)と沖田道議(右)」

夕方の室蘭アカデミーセンターでの胆振地区集会には200人が参加した。胆振地協の井野会長の主催者挨拶では「アベノミクスが格差社会を進行させている。労働規制の緩和により、働く者を犠牲にすることは許されない」と断固阻止を訴えた。連合北海道畑山副会長から基調提起が

され、「団結がんばろう！」のシュプレヒコールで閉会した。



「胆振地区集会」



「胆振地協井野会長」



「連合北海道 畑山副会長」

地区集会後に開催した胆振地区青年総決起集会には、登別選出の赤根道議らも駆けつけ40人の参加のもと、活発な意見交換がなされた。



「室蘭・青年委員会 中田委員長」



「熱心に意見交換」



「青年も団結してガンパロー」

翌日は、登別→室蘭→伊達→壮瞥町→洞爺湖町→豊浦町と進み、夕刻に次の渡島地協へと引き継いだ。

これからの集会日程（直近の開催予定を掲載）

- 6月4日（火）18:00 江差町地域振興センター
- 6月6日（木）18:30 小樽駅前
- 6月10日（月）18:00 留萌市中央公民館ホール
- 6月12日（水）18:00 岩見沢ホテルサンプラザ
- 6月16日（日）12:00 到着集会 大通西11丁目

